

岡田コミュニティ

# 助け合いから生まれた『おでかけ便』

岡田コミュニティでは、昨年10月から高齢者移動支援サービス『おでかけ便』を運行しています。どんなサービスで、なぜ始めたのか。今回は市内でも注目されているこの活動について紹介します。

## ドアツードアの移動支援

この『おでかけ便』は市提供のリース車を使って、片道が5キロ以内の移動で、買い物や通院といった日常に不可欠な移動の手助けをしています。

地区全体が広い岡田は、お店や病院に行くにも車が必要。しかし高齢のため、運転が困難な人が地区には多くいました。その支援として、ボランティアによる受付・運転をするサービスを計画しました。

## なぜ運転するのか？

電話予約制で、1回の利用につき燃料代実費の利用料です。運転手として要件を満たした9人が、ボランティアで送迎を担います。

「お客さんが喜んでくれるから」。

多くの運転手が、何げない感謝の言葉でボランティアを続けているそうです。75歳未満のシニア層が支えるこのサービスは、高齢者の移動確保に悩む他の自治体からも、多くの関心が寄せられています。



岡田コミュニティ 会長  
土岐 正宏さん

平成28年から岡田コミュニティ第2期まちづくり計画の中に「高齢者の生活交通手段の確保」を取り上げています。どういう取り組みが望ましいのか、約2年間にわたって丸亀市とともに方策を検討してきました。

この度、丸亀市から移動支援サービス用の車両を提供いただき、昨年10月から運行を開始しています。

現在、利用登録者も50人近くになっており、好評を得ています。

岡田地区にお住まいの人が、これからも『住み続けたいまち』だと感じられるような事業を進めていきます。

コミュニティセンターの入り口はいつも彩り豊かに飾られています



## 運営における課題

2年の検討を重ねて運行を開始した「おでかけ便」。多くの利用者から喜ばれています。しかし運転手の担い手確保がこれからの大きな課題となっています。地区で最も多い年代である60代は、働き方改革により現役で仕事をしている人がしばしば。このサービスの要であるボランティアの運転手を、今後どう集められるかがサービスの鍵となります。今だけでなく、未来にも喜びが繋がるように、岡田コミュニティは模索しています。